

第 15 回 感想・質問（物理講座・受講生）

学年	感想・疑問
小5	熱は移ると思っていたなかったので、初めて知りました。しったときはびっくりしました。土曜日はねむくて、朝起きるのが遅いので、あまののじかんがはやくかんじました。
小4	温度計をつくるのが楽しかった。けど、空気ははいてうまくいかなかったから家でもやってみたい。最後(第十六回)はどの実験も成功できるように頑張りたい。 気圧の意味も調べてみた。わかんないことをすぐ調べる、メモするくせがついていろんなことを知れるようになってきたと自分でも思う。
小5	熱は分子の振動だという事が分かった。 空気はどのくらい温度が下がると振動が無くなるのか知りたい。 今回は熱の伝わり方が分かった。温度計が簡単に作れたのですごいと思いました。 楽しかったです。
中2	今回の講座もありがとうございました。今回の講座で熱の移動や、温度計の仕組みについて知ることができました。 冬休みに温度を計る課題をやったのですが講座の中で使用しないならばあんなに時間がかかる課題は出さないでいただきたいです。残り1回の講座もよろしくお願いします。
中1	水と湯の温度を測る実験で、グラフを使ったので、熱の伝わり方が目に見えてとても面白かったです。 ペットボトルと、色水の実験では、手で温めることでの空気の膨張が、これもまた、目に見えて、さらに、温度計の原理まで知れて、良かったです。
中1	水の温度によって分子の運動が激しくなったり、ゆるやかになることを初めて知りました。二酸化炭素が冷えて -78°C になるとドライアイスになり、冷たすぎてやけどをするため、触るときは手袋をすべきだとわかりました。
小5	華氏の事が気になったので調べてみました。 ファーレンハイトが考案した温度の単位で、凝固点と沸点の間を180当分した目盛りです。華氏は氷点を32度、沸点を212度としています。 華氏 0°F = 摂氏 -17.78°C であり、摂氏 0°C = 華氏 32°F ということがわかりました。
小5	① 知った事 今回も実験が、とても面白かったです。僕の予想では、アルミが1番熱が上がりやすいと思ったが、実際は銅が1番上がった。また、銅でも太い方が最終的には上がり、予想外だった。 缶詰は、ステンレスや鉄の素材だが、中身が傷まないように工夫されている事がわかった。 Q.質問です！ 実験を通し、鉄やステンレスは、同じ金属の仲間でも熱が上がりにくかったです。どうして上がりにくいのですか？ 鉄やステンレスの成分が違うのですか？
小5	温度計を作ってみて、こんな簡単に作れるんだと感じたけれど、いくらみてもやっぱり不思議だった。最後も楽しんで講座を受けたい。

小5	<p>アクリル板を貫通して熱が移動したのがすごかった。</p> <p>冷たい水を温めるだけじゃなくて、アクリル板を温めたり湯気になったりしていたのがすごかった。</p>
----	--

第15回 感想・質問（物理講座・保護者）

学年	感想・疑問
小5	<p>温度計の実験で、空気をちょっと温めるだけで、空気が膨張して、水を押し上げる事を体感出来て、実感する事が出来て良かったです。</p> <p>机上の勉強と違い、体験する事の大事さを再認識しました。</p>
小5	<p>家に帰ってから、子供はしばらく手作り温度計で楽しそうに実験をしていました。</p> <p>熱について学べて良かったです。</p>
中1	<p>弟と一緒に感想を聞きました。</p> <p>「なんで冷たいものを触ってやけどをするの？」と弟が質問していましたが、私も同じことを思いました。</p> <p>調べてみると「凍傷」といい、やけどと呼ぶことがあると書かれていました。</p> <p>勉強になりました。おもしろかったです。</p>